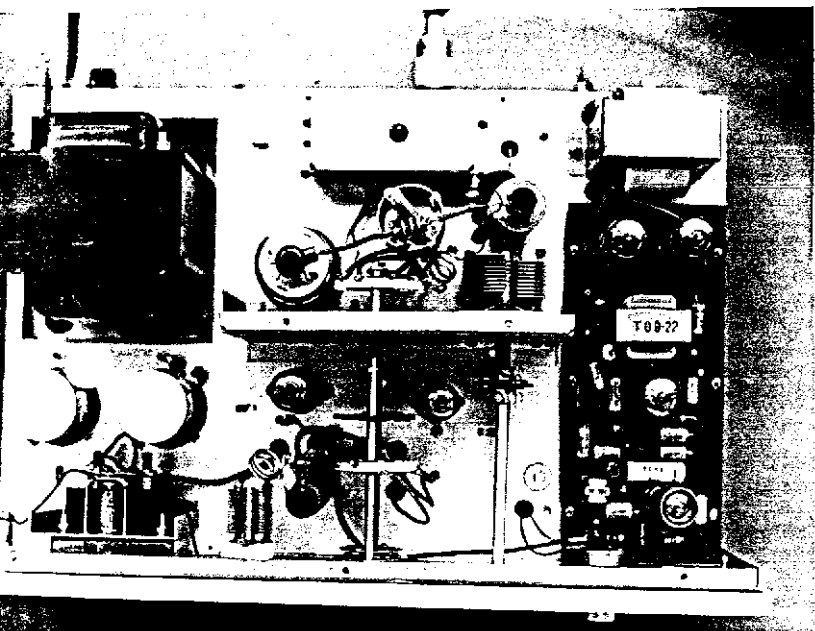
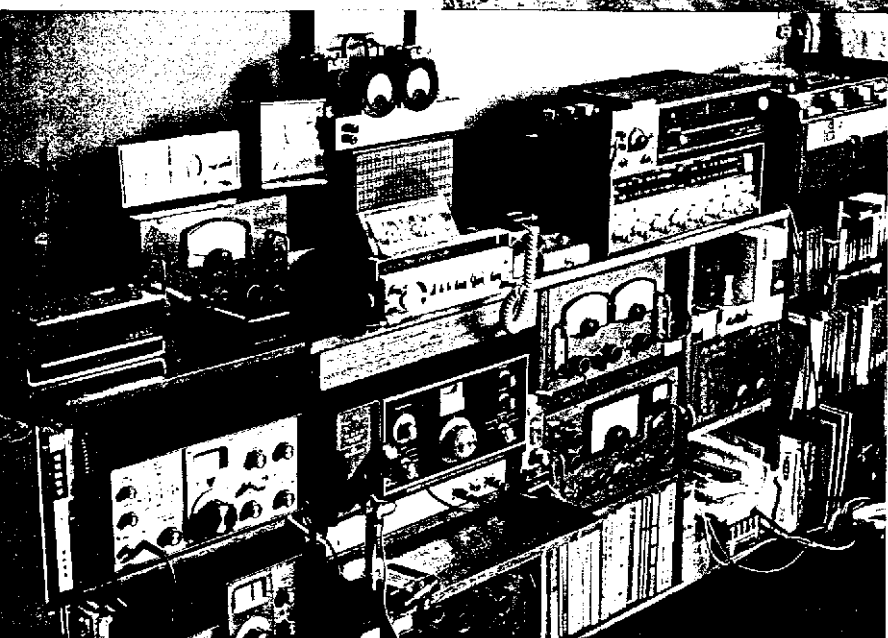


Voice of Yokosuka

No. 181



クラブ創立40周年
記念号



-JA1YBQ-
JARL横須賀クラブ

JARL横須賀クラブ40周年によせて

JARL横須賀クラブは昭和28年12月に創立され、今年（平成5年）の12月で満40年となりました。戦後アマチュア無線の再会が昭和27年ですから、その翌年に横須賀周辺局が集ってクラブ創立となったわけです。クラブ発足直後の会報（Voice of Yokosuka）VOL.1によると初代会長はJA1ES、構成メンバーはJA1DT, JA1EH, JA1ES, JA1II, JA1IV, JA1JU, JA1KH, JA1OG, JA1OI, JA1SP, JA1AFX, JA1AFYと10名のSWLからなっています。この中には今でもバリバリにオンエアされているOMがたくさんおりまして大変嬉しい限りです。クラブ発足以来、現在まで休止することなくアクティブな活動が続いているわけですが、ひとえに先輩諸氏のリーダーシップによるところが大であります。

今年は40周年特別行事として記念QSLカードの発行とアワードの発行を行ない、横須賀のPRを行なっていますが、現在QSLカードにあっては既に4万枚以上が発行されました。（アワードは93'JARL NEWS2月号P24、93'CCQ4月号P359に紹介記事有）

また12月5日には40周年記念式典（兼忘年会）を横須賀平安閣で実施の運びとなりました。記念式典実施にあたっては、御来賓をはじめ、現メンバー、OB諸氏の参加もいただき100名からなる盛大な記念式典実施となりました。あらためて御参集いただいた各位、運営実施にあたった関係各位に御礼申し上げます。

これからもJARL横須賀クラブは地域クラブとして地域での各種アマチュア無線活動やリレーションなどを通じ活性化のための運営・活動を行なっていきたいと思います。どうか今後皆様方のご支援をお願い申し上げます。

平成5年12月
JARL横須賀クラブ（JA1YBQ）
会長 JH1OHZ 片倉由一

VOY No.181（クラブ創立40周年記念号）発行に当たって

昭和28年12月、VOYが創刊しまして通算181号が発行出来ました。さて、過去のVOYを見ますと、まだいろいろな面で技術が確立していなかった頃の新しい技術の実験結果、クラブの活動報告などクラブ員相互の技術交換・話題のクラブ報として活躍して参りました。今回、VOY No.181（クラブ創立40周年記念号）発行に当たり、創立から今日までの横須賀クラブの会長と主な出来事、アマチュア無線界の主な出来事を年表にまとめました。

また「横須賀クラブ創立の頃の私」という事でJA1FFX・桑原OMに、当時電気少年で手作りブザーでトンツで遊んだという、思い出を書いて頂きました。

そのほか、40周年記念号という事で、VOY No.1を併せて紹介させて頂きます。これからも、クラブ員相互の技術・話題の場としてVOYを発行したいと思います。今後とも話題の提供、協力を宜しくお願いします。

最後に貴重な体験を寄せて頂いたJA1FFX桑原さん、年表はJQ1AHX古谷さんに製作していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

VOY担当 JJ1GLY 金木和彦

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
昭和26	1951		・戦後、わが国にハムバンド割当(6月)られ、第1回アマチュア無線技士国家試験が施行(受験者316名、合格者106名)。
昭和27	1952		・アマチュア局開局申請受付(2月)。 ・戦後第1回のアマチュア局の予備免許発給。全国30局(7月)。
昭和28	1953	・VOY(ボイス オブ 横須賀)創刊号発刊により横須賀クラブ結成。 初代会長は、JA1ES(坂元 弘)が(12月)。 ・会員は、JA1DT, JA1EH, JA1ES, JA1II, JA1IV, JA1JU, JA1KH, JA1OG, JA1OI, JA1SP, JA1AFX, JA1AFY SWL10名、顧問1名。	・アマチュア局数127局(2月末)。
昭和29	1954	・会長は、JA1ES。 ・会則(初版)が発表。当時会費は、月額20円。	・JARL事務局設立(11月)。 ・3504, 3510, 7050, 7087.5kHzの4チャンネルがバンド割当となる(11月)。 ・アマチュア局数2122局(12月末)。
昭和30	1955	・会長は、JA1KH(田野 弘)。	・IARUへ復帰(5月)
昭和31	1956	・会長は、JA1IV(逸見 新)。	・国産第1号のトランジスタラジオ発表(東京通信工業(現SONY))。
昭和32	1957	・会長は、JA1IV。 ・第一回見学会(初声監視所)(5月)。	・当時の1アマ, 2アマ 1アマ 第1次試験は、無線実験(5問)と電気通信術(1分間、和文50字、欧文60字の速度による5分間の送信と受信)。合格1ヵ月後 第2次試験は、電波法と無線学。 2アマ 第1次試験は、無線実験(5問)で、第2次試験は〇×式20問の電波法規。2アマは、50MHz以上、7MHz以下の電話。
昭和33	1958	・会長は、JA1BHZ(岡田 幸雄)。	・電波法改正により、電信級、電話級アマチュア無線技士の資格が誕生。
昭和34	1959	・会長は、JA1AYY(片平 俊明)。	・電信級、電話級アマチュア無線技士の国家試験が実施(4月)。 ・社団法人JARLが創立(12月)。 ・社団局(クラブ局)が制度化される(12月)。
昭和35	1960	・会長は、JA1BIR(赤木 保)。 ・会員数141名(アマチュア局91名、SWL局50名)。	

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
昭和36	1961	・JARL横須賀クラブ定義発表。 正員は、年間120円。準員は、年間60円。 ・JA1YBQ開局。	・アマチュア人工衛星オスカー1号飛ぶ(12月)。
昭和37	1962	・会長は、JA1OG (石黒 忠久)。	
昭和38	1963	・会長は、JA1EHC (細川 湊)。 ・災害通信訓練を計画(5月)(朝日新聞、神奈川版に掲載) 会員150人が参加し、主要局を猿島に置き、三笠、大楠、観音崎 ほか、東京湾にヨット、陸上に車班6局を結んで、交信状態や感度を 調べ、災害発生時の通信連絡に役立てようというもの。 ・第1回フォックスハンティング(9月)。	
昭和39	1964	・会長は、JA1BTR (竹中 功)。 ・正員は、一般年間300円、学生200円。準員は、100円。 ・三笠まつり公開実験(5月)。 ・フィールドデーコンテスト(城ヶ島)(8月)。 ・フォックスハンティング(馬堀海岸)(9月)。	・430~440MHzの割当られる(1月)。
昭和40	1965	・会長は、JA1DSW (浜田 正幸)。	・養成課程講習会制度が出来る(第1回は、翌41年実施)。
昭和41	1966	・会長は、JA1CME (桑原 宏明)。	
昭和42	1967	・会長は、JA1DXX (志田 孝二)。 ・三笠まつり(5月)。 ・フォックスハンティング(6月)。	
昭和43	1968	・会長は、JA1UVS (鈴木 智夫)。 ・ハイキング(ギョギョ山)(4月)。 ・ALL JA 全国3位(JA1YBQ)(大楠山)(4月) ・三笠記念艦移動公開運用(5月) ・フォックスハンティング(横須賀中央、三笠ビルの裏山。)(8月)	
昭和44	1969	・会長は、JA1PHZ (城谷 俊彦)。 ・猿島にてフォックスハンティング実施。 FOXは数の中に隠れていた。(夏)	

和 歴	西 暦	Y B Qの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
昭和45	1970	・会長は、JA1HAK (津野 雅彦)。 ・JARL 養成課程講習会実施。 ・安針塚にてフォックスハンティング実施。	
昭和46	1971	・会長は、JA1FFP (鈴木 令人)。 ・第1回市内メリットモービル実験 (3月)。 モービル局のRIG, ANTは、どんなものがふさわしいか、また周波数はF3の場合、2mと6mとどちらにメリットがあるか、と言う実験。 ・VHFアンテナ講習会 (逸見青少年の家) (3月)。 ・フォックスハンティングとお花見 (4月)。 ・春のたなごつり大会 (4月)。 ・Y B Qの新しい周波数と電波形式 (9月)。 3.5 7 14 21 28 MHz 10W A1, A3J 50 10W A1, A3, F3 144 10W A1, F3 435 10W F3 ・合同ミーティング。 参加クラブ：横須賀クラブ (37名), 開国クラブ (8名), 金沢クラブ (6名), 伊豆スカイライン (9名) ・県立青少年会館文化祭公開実験。 ・ボーリング大会 (久里浜テアトルボール)。 ・見学会 (TV局: 4ch, 12ch)。	

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
昭和47	1972	・会長は、JR1LDW (高橋 久義)。 ・QSOパーティー。 ・総会 (2月)。 ・釣り大会 (長井) (4月)。 ・いちご狩り (伊豆菰山) (4月)。 ・ALL JA (4月)。 ・三笠まつり公開実験 (5月)。 ・YBQのQSLコンテスト (5月)。 ・フォックスハンティング (佐野町) (5月)。 ・6m&Down (衣笠山)。 ・合同ミーティング (伊豆スカイラインクラブ, 開国クラブ) (8月)。 ・海水浴 (大浦海岸) (8月)。 ・ALL city。 ・JR1HQC氏の好意により、クラブハウス建築 (9月) ・YBQマラソンコンテスト。	
昭和48	1973	・会長は、JA1DCK (築田 篤良)。 ・いちご狩り (伊豆菰山) (4月)。 ・ALL JA (クラブハウス) (4月)。 ・6m&Down (衣笠山) (7月)。 ・Filed Day (塚山公園) (8月)。 ・海水浴 (剣崎) (8月)。 ・フォックスハンティング (観音崎) (9月)。	・7月29日は、アマチュア無線の日と定められた。
昭和49	1974	・会長は、JH1GUY (新倉 武夫)。会員は、110名。 ・総会 (1月)。 ・クラブハウス取り壊し。 ・花見を兼ねたフォックスハンティング (衣笠公園) (4月)。 ・ALL JA (JA1ITN宅) (4月)。 ・釣り大会 (猿島) (5月)。 ・非常通信メリット交換 (中央公園) (5月)。 ・Filed Day (8月)。 ・ALL city (10月)。 ・自作コンテスト (10月)。 ・マラソンコンテスト	

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
昭和50	1975	・会長は、JA1HAU (金子 勲)。 ・会費、1200円となる (1月)。 ・YBQオンエアミーティングの周波数変更 (3月)。 周波数 21.150MHz 付近 A3j 時間 毎週土曜日 23:00～ ネットコントロール JA1HAU ・フォックスハンティング (城ヶ島) (3月)。 ・ALL JA (JA1ITN宅) (4月)。 ・横須賀クラブ、JARL登録クラブとなる (4月)。 登録No. 11-1-2 ・6m&Down (衣笠山) (7月)。 ・Filed Day (8月)。 ・ALL city (10月)。 ・JARLに負けない会員証発行。 ・マラソンコンテスト。	
昭和51	1976	・会長は、JA1HAU。 ・総会 (1月)。 ・三浦半島地域連絡協議会発足。 ・YBQオンエアミーティングがVHF帯でも開始 (3月)。 周波数 145.32MHz F3 時間 毎週土曜日 21:00～ ネットコントロール JA1DSW 21MHzは、23:00から22:00に時間変更。 ・YBQの3.5MHz トランシーバー90%完成 (4月)。 ・ALL JA (4月)。 ・6m&Down (衣笠山) (7月)。 ・Filed Day 参加 (衣笠山) (8月)。 ・YBQ8月マラソンコンテスト (8月)。 ・横須賀アワード発行。 ・自作コンテスト (11月)。	

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事												
昭和52	1977	・会長は、JA1LSS (毛利 邦彦)。 ・総会 (1月)。 ・臨時総会 (3月)。 ・会費、2400円となる。 ・2mナロー化技術指導 (4月)。 ・ハムセミナー (7月)。 ・11月マラソンコンテスト (11月)。 ・フォックスハンティング (観音崎) (11月)。 ・新横須賀アワード発行。													
昭和53	1978	・会長は、JA1HAU。 ・横須賀クラブ、創立25周年。 ・総会 (3月)。 ・臨時総会 (4月)。 ・ALL JA (JE1TRD宅) (4月)。 ・神奈川支部フォックスハンティング (厚木) (5月)。 ・一泊研修会と三浦市JCCサービスと釣り大会 (城ヶ島) (6月)。 ・6m&Down (鵜取山) (7月)。 ・Filed Day (衣笠公園) (8月)。 ・JARL神奈川県支部大会 (相模川河原) (9月)。 ・ALL city (関東自動車工業) (10月)。 ・オンエアミーティング曜日変更。 毎週土曜日 <table> <tr> <td>144MHz</td> <td>A3j</td> <td>144.50</td> <td>21:00</td> </tr> <tr> <td>50MHz</td> <td>A3j</td> <td>50.250</td> <td>21:30</td> </tr> <tr> <td>21MHz</td> <td>A3j</td> <td>21.150</td> <td>22:00</td> </tr> </table>	144MHz	A3j	144.50	21:00	50MHz	A3j	50.250	21:30	21MHz	A3j	21.150	22:00	
144MHz	A3j	144.50	21:00												
50MHz	A3j	50.250	21:30												
21MHz	A3j	21.150	22:00												
昭和54	1979	・会長は、JE1DNW (山台 忠昭)。 ・YBQマラソンコンテスト (2月)。 ・臨時総会 (2月)。 ・6m&Down (7月)。 ・Filed Day (衣笠山) (8月)。 ・県支部大会支援 (市立文化会館) (9月)。 ・フォックスハンティング (城ヶ島) (10月)。													

和 歴	西 暦	Y BQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
昭和55	1980	・会長は、JE1DNW。 ・総会 (2月)。 ・県支部フォックスハンティング支援 (観音崎) (5月)。 ・50MHz, 144MHz アンテナ特性実験 (野比海岸) (6月)。 ビームパターン・ゲイン測定 ・6m&Down (小原台) (7月)。 ・県立青少年会館夏まつり (7月)。 ・合同バーベQ (野比海岸) (7月)。 JF1YAG, JG1YFBと共に。 ・アンテナ製作講習会 (8月)。 144MHz用アローラインアンテナ ・全市全郡 (阿部倉) (10月)。 ・一泊研修会 (松輪民宿「一郎丸」) (11月)。	
昭和56	1981	・会長は、JH1AIZ (笹瀬 滋)。 ・オンエアミーティング144MHzへ (1月)。 毎週日曜日 10:00 144MHz FM ・県支部フォックスハンティング支援 (城ヶ島) (5月)。 ・県立青少年会館夏まつり (7月)。 ・Filed Day 及びバーベQ (衣笠公園) (8月)。	
昭和57	1982	・会長は、JH1AIZ。 ・KC6IN (西村) 氏を囲んで懇談会 (1月)。 ・総会 (3月)。 ・県立青少年会館夏まつり (7月)。 ・Filed Day 及びバーベQ (衣笠公園) (8月)。	
昭和58	1983	・会長は、JA1FXF。 ・県立青少年会館夏まつり (7月)。 ・Filed Day (8月)。217080点。150/368局。 ・バーベQ (走水海岸) (9月)。	

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
昭和59	1984	・会長は、JA1FXF。 ・総会 (3月)。 ・ALL JA (4月)。161点。51位以降。 ・県支部フォックスハンティング支援 (観音崎) (5月)。 ・6m&Down (県教職員三浦保養所) (7月)。18213点。41位。 ・県立青少年会館夏まつり (7月)。 ・Filed Day (8月)。3431点。51位以降。 ・バーベQ (9月)。 ・全市全郡 (10月)。153702点。33位。	
昭和60	1985	・会長は、JA1FFP。 ・New Year Party (記念館三笠) (1月)。 ・ALL JA (4月)。52885点。51位以降。 ・三笠まつり公開運用 (記念館三笠) (5月)。 ・6m&Down (武山) (7月)。131411点。5位。 ・Filed Day (衣笠公園) (8月)。122085点。18位。 ・全市全郡 (10月)。101239点。51位以降。	
昭和61	1986	・会長は、JA1FFP。 ・ALL JA (中央公園) (4月)。84765点。38位。 ・公開運用 (記念館三笠) (6月)。 ・6m&Down (武山) (7月)。89840点。9位。 ・県立青少年会館夏まつり (7月)。 ・Filed Day (武山) (8月)。420742点。8位。 ・全市全郡 (10月)。321835点。23位。 ・JARL主催コンテストにおけるクラブ対抗順位、78位。	
昭和62	1987	・会長は、JN1FKW (小田 克夫)。 ・アンテナ制作講習会 (2月)。430MHz用バイコンカルアンテナ 430MHz用コリニアアンテナ ・Filed Day (8月)。 ・バーベQ。	
昭和63	1988	・会長は、JH1OHZ (片倉 由一)。 ・TVI対策講習会 (5月)。 ・アンテナ制作講習会 (6月)。430MHzへんてなアンテナ ・県立青少年会館夏まつり (7月)。	

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
平成元	1989	・会長は、JH1OHZ。 ・ALL JA (武山) (4月)。98400点。16位。 ・県支部フォックスターリング支援 (城ヶ島) (5月)。 ・6m&Down (武山) (7月)。 ・県立青少年会館夏まつり (7月)。 ・横浜博覧会 (8J1YE) 支援 (8月)。 ・バーベQ (久里浜ペリー記念碑) (8月)。 ・全市全郡 (武山) (10月)。 ・アンテナ実験及び芋煮会 (久里浜ペリー記念碑) (12月)。 釣竿を用いた1/4λGPアンテナ	・18MHz帯、24MHz帯が許可される。(7月)
平成2	1990	・会長は、JH1OHZ。 ・ALL JA (武山) (4月)。15位。 ・GPアンテナ実験 (久里浜ペリー記念碑) (5月)。 ・ALL神奈川 (武山) (6月)。6位。 ・6m&Down (武山) (7月)。9位。 ・Filed Day (武山) (8月)。9位。 ・全市全郡 (10月)。51位以降。 ・県支部大会支援 (市立はまゆう会館) (10月)。 ・電源製作講習会 (11月)。 ・JARL主催コンテストにおけるクラブ対抗順位、13位。	
平成3	1991	・会長は、JH1OHZ。 ・TVI対策講習会 (1月)。 ・総会 (3月)。 ・ALL JA (中央公園) (4月)。52位。 ・バーベQ (長浜) (5月)。 ・臨時総会 (5月)。終身会員制度スタート ・ジャンクツアー (JE1TRD宅) (6月)。 JE1TRD (世安) 氏の好意によりジャンクツアー開催 ・6m&Down (武山) (7月)。10位。 ・Filed Day (武山) (8月)。8位。 ・ダミーロード製作講習会 (9月)。 ・県支部大会 (大和市立大和健康福祉センター) (9月) クラブ展示に参加。 ・全市全郡 (10月)。89位。 ・忘年海浜移動運用 (葉山公園) (12月)。	・JARD (日本アマチュア無線振興協会) 発足。

和 歴	西 暦	YBQの主な出来事	アマチュア無線界の主な出来事
平成4	1992	・会長は、JH1OHZ。 ・1泊2日移動運用（南足柄市ふれあいの森）（1月）。 ・ニューオペレーターのためのハム講座（1～2月）。 ・総会（3月）。 ・ALL JA（衣笠山）（4月）。248787点。12位。 ・ALL神奈川（武山）（6月）。7位。 ・6m&Down（武山）（7月）。193765点。15位。 ・SWRメーター製作講習会（7月）。 ・県立青少年会館夏まつり（7月）。 ・Filed Day（武山）（8月）。15位。 ・ハンディー機用VOX装置製作講習会（9月）。 ・県支部大会（藤沢市湘南台文化センター）（10月）。 ジャンク市とグリッドロケーター調査 ・全市全郡（武山）（10月）。24位。 ・JARL主催コンテストにおけるクラブ対抗順位、10位。	
平成5	1993	・会長は、JH1OHZ。 ・横須賀クラブ40周年QSL, アワード発行。 ・総会（4月）。 ・ALL神奈川（武山）（6月）。9位。 ・6m&Down（武山）（7月）。 ・県立青少年会館夏まつり（7月）。 ・Filed Day（武山）（8月）。 ・C-MOS、IC使用タッチ式PTT、マイク製作講習会（9月） ・県支部大会（相模原市産業文化センター）（10月）。 ジャンク市、40周年アワードPR ・全市全郡（武山）（10月） ・クラブ創立40周年記念式典（12月）	

横須賀クラブ設立の頃の私

桑原宗弘 (JA1FXF)

昭和28年(1953)私の年14歳、不入斗中学(入中)2年生、横須賀クラブの設立はもとより、アマチュア無線の存在すら知らず、世にいう悪ガキの年齢を謳歌していた頃である。

ただ奇しくも『モールス符号』に出会ったのがほぼ同年代で、我々悪ガキの遊びがどの様にして『アマチュア無線』に結び付いて行ったのかを残す意味でまとめて見ることにした。

当時の我家は、富士見町3丁目の本道り『火の見やぐら』(消防分団)の斜め前やや2丁目寄りに有り、ここから毎日『入中』まで徒歩通学をしていた。この頃はこの程度の距離は歩いて当り前、もっと遠くからゲタ(運動靴など希)の歯音も高らかに、キャンバス地の下げ鞆を肩に三三五五連れ立って通学したものである。

私の登校は同じ3丁目(通称新墓)から出てくる同級生達が通り掛かるのに合流し不入斗橋(下を宇東川と呼ばれるトブ川が流れていたが今ではかろうじてバス停に橋の名を残すのみである)から鶴久保小学校の横(現在の正門前)を通り、現在の総合グラウンド(当時は一面の畑になっていた)に沿って西来寺前から『入中』の裏門前に出、さらに校庭を回り込む様にして正門へ、というのが順路で、約15~20分の道程であった。

下校時は、ルート不定、所要時間不定で、季節、天候、気分、みちずれ等々により決まるのが普通であった。

昨今と違い『塾』と名の付くのは『そろばん塾』くらいで、せいぜい学校の教師か大学生が自宅を使って細々と宿題を教える『夜学』と呼ばれるものがあった程度で我々悪ガキには全く縁の無いもの(もっとも大学生になって自分も『夜学』なるもので小遣い稼ぎをした時期も有ったが)で、下校後の遊ぶ時間は有余るほどに有った良き時代である。それで無くとも鞆の中には、手旗信号用の紅白旗、投げ縄用ロープ、小刀、懐中電灯等々、又、コーモリ傘の柄のパイプを銃身とした手作りのピストルに板火薬をほぐして固めた発射薬に空気銃の弾、という物騒な物まで入っていた時期もあり、家に戻らなくとも遊び道具には事欠かない状態であった。

私と同年代の方なら御存知と思うが、当時の『入中』の校舎は戦時中の兵舎を教室としたものが半分、新しく建てられた校舎が半分(我々が入学する前年のある日の昼火事によって旧兵舎教室の一棟を焼失した為、新校舎がたてられた)で、新入生は旧兵舎教室を割当てられ、新校舎に入れたのは2年生になってからと記憶している。

が、それはさておき、この旧校舎は両側に教室の並ぶ中廊下式の建物で、雨降りの日等は日中でも真暗で、これがまた悪ガキにとって絶好の遊び場となった。

ここで使われたのが前記の懐中電灯で、初めのうちは仲間同士で取決めた符号でチカチカとやっていたのだが、ある時、我家の物置きで父親の軍隊時代の手帳に『和文モールス符号』が『合調語』（イ=イトー、ロ=ロジョーホコー、ハ=ハーモニカという符号の簡易記憶語）と共に書かれているのを見付け、これを書写して学校に持込んだのが私と『モールス符号』との最初の出会いである。

早速、仲間と『イトー』『ロジョーホコー』『ハーモニカ』と始めたのは良いのだが、当時の乾電池の性能は最近の物とは比べ物にならず、すぐにへたってしまい我々の小遣いではとても足りるものではなかった。乾電池の中に塩水を注入すれば寿命が延びると言うことになり、陽（+）極の横にキリで小穴を開け、ここから注射器で塩水を注入する（電解液を補充する意味が有ったのか？）という『使い捨て』が当り前の昨今では考えられない様なことも真剣にやったものである。

最近の密閉型乾電池しか知らない人には想像もつかないかも知れないが、外装は亜鉛板の陰（-）極にボール紙の筒をかぶせたもの。天板はビッチ（アスファルト又は、コールドールと思えば間違いなし）を流し固めて、+-極間を絶縁していると言うのが当時の乾電池で、ちょっと油断すると自然放電し、ブクブクと脹らんで変形はするは、張裂けて液漏れはするは、それだけならまだしも、なけなしの電気器具までダメにしてしまう厄介なものであった。

この様なことをしていた我々にある日『乾電池が山ほど積み上げてある所が有る』とのニュースが飛込んできた。場所は、聖徳寺坂の途中、京浜急行のガード下の三叉路を公郷駅（現在の安浦駅）の方に少し行った所（と記憶している）の路上である。

当時は金物ならば『折れ釘』や『錆釘』を川ざらいして拾い集めても、立派にスクラップとして商品になった時代である。（現在の様に自動車が路上に捨ててあるなど、当時の人には考えもつかないことであった）

ここも歴とした商店（スクラップ屋）であった。ただ商品の置場所が無く路上に積み上げてあるもので、中を覗くと日雇いのおばさん達がハンマーを手に乾電池を潰し亜鉛板を回収する作業中である。持って行った豆ランプと針金で手近な乾電池を試すとこれが結構使えそうである。となれば悪ガキどもがこれを見逃す訳がない。ただこの乾電池ちょいとポケットにという訳にはいかない。多分アメリカ軍の放出品と思われる単二形の乾電池、何に使われていたのか数十本をひとブロックにし、これを並列にボンディングしてあるもので、肩に担いで走るのはきつそうであるが、さりとてあきらめられる訳もなし、二人一組で、一人が自転車に乗り他の一人が

これに付添うかたちで通りすがりに手頃なブロックを荷台に積み込みあとは一目散・
 ・・・・これで手に入れた乾電池を使い、木製の電鍵（無論手作り）とブザーでトン
 ツー・トンツーと始めたのがこの道への始まりとなったのであろうか？（しかし、
 この頃になるもアマチュア無線という言葉すら知らないままであった）

この後高校（県工）に進み、ここでも鉱石ラジオをどれだけ小さく作れるかを
 仲間と競ったりしていた。最終的にはバリコンのかわりにパディングコンデンサ
 の調整ねじに軸とつまみを付けて使うことで、石蔵箱の中に組込むことまでしたも
 のである。もちろんここで言う鉱石は、ゲルマニウムやシリコンのダイオードでは
 無く、ベークライトの筒の中に鉱石（方鉛鉱？）のかけらと探針となるスプリング
 が組込まれ、これをヒューズホルダーの様な金物で取付けるもので、その大きさ
 もガラス管ヒューズと長さはほぼ同じですこし太めの物であった。又、コイルも
 円筒形（ソレノイド）コイルではなく、くもの巣形（スパイダー）コイルであり、
 周波数帯もまだ短波帯を聞くことを知らずラジオ放送波（中波）帯であった。

一方我家のラジオは未だに古い並四（0-V-2）形を使っており、このラジオ
 に時折混信（BCI）を起こすわけのわからない電波が有り、ラジオの修理や、
 前記鉱石ラジオの部品購入で仲良くなった近所のラジオ屋のおやじに、この混信波
 こそアマチュア無線であることを教えられてからはこの『BCI波』をさかんに受
 信したものであり、これが私とアマチュア無線との出会いと言えよう。

又、アルバイトで得た金を握りしめ、初めて秋葉原へ出掛け5球スーパの部品を
 購入、このラジオの完成と引替えに古い並四ラジオは私の実験用に払下げられ、私
 と無線との結び付きをさらに強めることになった。

この後は、S.33年(1958)の大学入学と同時に『無線部』入り、S.34年(1959)4月
 の第一回電話級国試合格、S.35年(1960)9月の開局からS.40年(1965)の一時閉局、
 S.45年(1970)の再開局と『横須賀クラブ』への入会、そして前回体験記を書いた
 H.2年(1990)6月の電信級（第3級）受験とH.4年(1992)2月の25W出力移行等々
 と推移することになるが、他のことは又のチャンスを戴いて書くことにしたい。

いずれにせよ、私がアマチュア無線とようやく出会えたこの時代にすでにクラブ
 の発起から無線局の運用までしていた諸OMに敬意を表し、この稿を終わる。

1993-10記

Voice Of YOKOSUKA

Vol II No II .

JARL - YOKOSUKA - CLUB - MEMBER

JA1DT	栗林 幸	横須賀市 池上 3610
JA1EH	川島 宜雄	" 上町 4-203
JA1ES	坂元 弘	" 深田台 74
JA1II	中野 昌男	" 大津 856
JA1IV	逸見 新	" 浦郷 1056
JA1JU	蔵並 新	" 大津 1013
JA1KH	田野 弘	" 志水 立花荘 1寮1号
JA1OG	石黒 忠久	三浦郡葉山町堀内 1866
JA1OI	佐藤 誠	横須賀市 三春町 21
JA1SP	鈴木 幹雄	三浦郡葉山町堀内 368
JA1AFX	生田 和美	横須賀市 若松町 2-10
JA1AFY	奥村 進	"

JA1-1075	攻野 重隆	横須賀市 不入斗 3-53
	佐藤	" 三春町 1-21
	森	" 深田台 43
	米山 悦宏	" 上町 3-45
	佐藤 寿	" 船越 7-54
	坂本 実男	" 追浜東町 2-5
	上村 久	" 鷹取町 1-24
	岡矢 昌彦	" 追浜南町 2-6
	村瀬 嘉夫	" 汐入町 4-57
	高田 慧	"

親向 石田 弘吉 横須賀市 杯 1/3

ハムバンド (法71條による指定変更命令書受領の日より有効)
—— ハヤクコイ コイ 命令書 ——

② クリスタル共振器で周波数 (0.5% 精度) も有るもの

3507.5 KC ~ 3567.5 KC

7012 KC ~ 7088 KC

14020.5 KC ~ 14329.5 KC

28051 KC ~ 29649 KC

50.1 MC ~ 53.9 MC

144.2 MC ~ 147.8 MC

ボイス オブ ヨコスカ。(あるOMの随想)

Testingではなく初めてオマビラに(Q)を出せた時の気持ちは何んとも云へない。CQ CQと連呼すると応答がある。うれしくなってしまう。何と云って良いかわからない。なってしまう。testing off 等と云ってしまう。こんな事を繰り返してみるうちに、格闘をザーザーとくたてくると、良い加減の事が云える格闘になる。一人はくそで、もう一人はW AのAでもやろうかなんて云う気持ちになつてくる。時でいるのが併し、その頃には、かたがた、半ヤンキーに、嫌うて、未上った砂上の楼閣、くづれ始めてくる。もう、番になつてしまふ。と、上から、電波が、出て、一応、連絡が、と、中々、ば、それ、で、よ、う、こ、ん、で、い、る、時、は、未、だ、哀、しい、方、で、は、ア、ツ、ク、も、コ、ツ、ク、で、い、る、R、の、こ、ろ、を、こ、て、再、も、格、闘、な、ニ、ユ、ー、ス、が、入、つ、て、く、と、落、つ、て、い、る、の、な、い。何、こ、ろ、こ、は、知、り、だ、が、入、力、が、だ、や、り、だ、も、ん、な、の、な、未、だ、哀、しい、方、で、は、格、闘、で、入、力、35W、だ、つ、て、出、な、ん、て、云、う、事、に、な、る、と、タ、マ、ラ、ナ、イ、……どうも、最、近、通、達、が、悪、く、な、つ、て、来、た、の、は、他、の、Q、R、の、セ、リ、で、は、な、い、か、な？ と、云、う、気、持、に、な、つ、て、く、る。(勿論、小電力で、電、も、や、る、の、が、アマ、ユ、ア、の、本、旨、は、あ、る、所、れ、ど、也)そう、な、る、と、もう、あ、ま、り、生、る、気、持、が、な、く、な、つ、て、く、る。電、燈、電、源、に、予、備、が、な、い、か、も、あ、る、所、を、見、つ、け、て、砂、上、の、楼、閣、に、か、え、し、て、見、る。木、柱、を、鉄、柱、に、変、え、た、つ、も、つ、り、で、是、れ、が、半、鐘、の、柱、だ、と、云、う、格、闘、な、サ、ケ、な、い、事、を、繰、返、し、て、ニ、三、分、ま、つ、ぶ、し、事、も、再、三、で、こ、う、な、る、と、その、バ、ン、ド、が、否、に、な、つ、く、る。他、の、バ、ン、ド、が、目、に、い、り、耳、に、い、る、つ、つ、と、く、る。そう、す、る、と、どう、し、て、も、その、バ、レ、ド、を、や、ら、な、け、れ、ば、な、い、な、い、格、闘、な、い、も、ア、セ、リ、出、す。こ、ん、な、気、持、で、今、日、も、終、り、さ、う、で、あ、る。



Q R M (ページのすみには、おコッパとまじるなり)

- 。無用のキヤリヤーや テストを出て、様気をつけよう。
- 。良く聞いてから ON AIR しませう。
- 。FB な DX をつかまえた。近所の人にも オスワロケ。

3.5 MC 漫言

—JALIV—

⑦ 7 MC の QR M は何と云つてきりもいふ小言が、あのビートな
 一時間も固いて居ると Y しと、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 長く 3.5 MC の方へ切替へると、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 してしまつたのかと思ふ程、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 S メーターが大きい、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 きつて始めて、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 前に 3.5 MC は、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 と云つて 3.5 MC の特長が出てくる、いふやこは、いふやこは、
 ンドは予備免の天下で、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 によつては、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 高に (R を呼ぶ) も、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 くらどなたか、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 と云つて予備の人、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 備の人、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 ありた様に、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 が数々と長く、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 では、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 と云へば、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 と云つて、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 た、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 一時間も二時間も、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 係も、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 乏は、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 3A3 が、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 3 と、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 さん、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 10 と、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 ビートで、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 い等と、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 出て来ても、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 て、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 浪、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 は、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 7 つて、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 ん、いふやこは、いふやこは、いふやこは、
 ち、いふやこは、いふやこは、いふやこは、

QRX 41. 2 波の V-2 へ 45 Y は — す……

CWのQRXが来てくる。その為にはDXの太いには線づるための
 傾向であるが、案外このQRXより太きり奇でありと聞くとそれな
 い。むしろ日中の静かな時に5が2~3の局でも結構聞えるのでD
 Xがきくことがある。私の取った3.5MHzはこの様な状態であつ
 て、BCIの缺點は大さくとしても、Rock Rag Chewには
 もってこいで、又国内のDXも多し(国外でもKGE KH6 位は
 とどくらしいけれど)。案外に私等初心者向けのBandである
 と思うけれども、早くFMになるとともBandになつてくれば、
 良いがあつたと思ひは、こゝでも同じことであらう。最後に3.5
 MHz QRPの局も2~3ある事をつけ加えて置く。 —73—

入ポツトニュース.

◎ 横須賀の新局

JA1AFX 生田 OM

ファーストオペさんです。横須賀クラブの
 為に14~25MHzまでがんばって下さい。

JA1AFY 奥村 OM

コータと云う語彙をついに得られました。
 5月25日もう空で事が聞かれた物です。

◎ これは新局ではありませんが JA1EH 川島 OM / 1.4 の PC
 合格されました。VY FB.

◎ WAJA 完成 当クラブのトツアで JA1ES 坂本 OM
 が更迭されました。これに続いて 1KH 後 2果 1II 3果
 1I 4果 をのこすのみとか FB ですわ。164 はアレーアか?

◎ YL ステーション 続々出現

YL No2 JA1AEQ IPK 氏の XYL でござります。

アダムとイブのクレーンとが押されて見る様でした。

YL No3 JA2JX かり有名な YL SWL 山本 てる子 さん

EX 当りてりさんです。近日の YL としてお聞きのこと。

YL No4 JA2JX あつとこつちの方が No3 さん

2 氏の XYL でありました。

日本のアマチュア ラジオもますます隆盛ですわ。73as 氏

マツチシグ ボツリス

(マツチシグとはかくの如くというものである)

「只 今」今日は早く帰って来て下ったナ 子供を早く寝かせて 明日の朝早く
 老いの話をしてみたり、と思ふが、夕べの仕事を早くお終へ 部屋に
 入って行くと シヤーン ハンダースミス のころがっている中で セツセ
 コチを動かして ゴリゴリ穴を開けています 「ねえ 今日にはこう言う事がありまし
 たの、こんな事も……」 こんな時は 何を話しても 「ラン、ラン」
 あげくのはでは 「一寸お水をとつて」 「ここをオサエて」 「之を計算
 して」 せめてが聞かぬ こんな事はばかりつづいてる或る日 青葉集を
 示して「どう素晴らしいだろう」 と得意満面。

「ハロー (Q (Q (Q This is JAI イングランド ス페인 JAI
 ES: 子供が教へた如く飾をつけて歌つて見ります。

「素一 貴人の所のババ何と云うの ハロー (Q JAI ES と云うの？」

「ラン ハロー (Q (Q JAI ES イングランド ス페인 と云うのよ」

「うちのラジオに雑音が入つてかたがないから放送局にハガキをせよと
 したかな」 「キット どこののスパイで？」

「あのアンテナはテレビのアンテナ 1111でオハ」

「家のラジオは電着たがらアンテナ無くてよく聞えるよ」 せめて……

「その中にアマチュア無線の本質がわかり出すと くること くること」

「金々ラジオが壊れません どうにかして下さい」 「まづデジタでオハ 明日は
 花見に行くとか 天気がどうとか NHKより面白いでオハ」 と僕も友人

も来る 「お前の友人は私の声でもかい声でオハ」 「そなたにふい声でオハが
 何ラジオがよいんでせう」 又来たなと思うから、こつちから先手を打つて出

る 「その程度 夫はタイマー ハンチ せめて入った箱をかかえて」といふ時さ……

その後 送信機の前で 「失今 試験中 本日は晴天なり」をくりかます。

なるべく男声に 近寄らせようと思ふが、そこは性のものさす 悲しさ。

どうとう 監視局よりお目玉をくつてしまひました。一分毎にどつてあるはず

「アッてひまな人でせう」 でもこれが本職なる 初めから速い人でせう

注意されたくやしさに こんなことにも皮肉をこめて見たくなる。

無線局を南局にてより一軒余 壁一面に貼られたカードも大分色あせた
 感じ。

「こんなに費用をかけて一文の収入も……」 ところが遠くマインスになる アマチュア

無線をどうしてするの そんなに面白いの？ 友達に良く聞く。

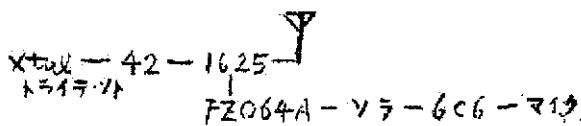
私もその面白味はまだわからない。 でもこんなにたのしくて「作理
 はこれに、これでは造り、造つては ハロー」となる夫のために

私はこう答へたり。 Because it is there と。

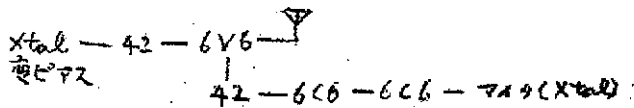
境元 秀 子

各局のTX (はりけい)

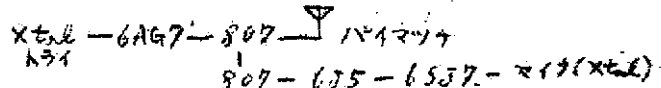
JA1EH ワンナフ
(えは昔の1st オペ用は?)



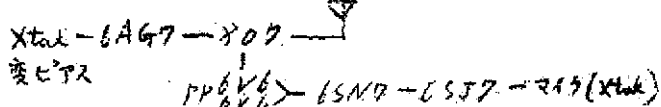
JA1OI -----
(新さんのはまだですか)



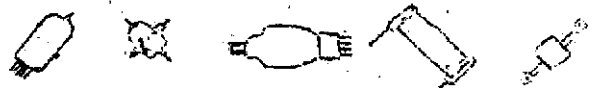
JA1SP
(近1stにありたい)



JA1IV
(アナ2カ所ですぞ)



この次からは色々キカイ RX 等おせたいですが、図面を係生提出して下さい。



終段増幅の部 (8/3の頁とでもしましょうか)

ハンシユー後記とミラチです

- ◎ やつとこんなVOY 第一号が出来ました。小生のTXと同様に編集だかよせ集めたかわからぬBFなるものですが、皆様の御教示によりたんだん8/3や100THの標にして行きたいと思っております。
- ◎ 2号からは技術の頁や各DMの方のシヤツク紹介ものおせたいと考えて居ります。TXやRXのラインアップは来月は皆さんのも出たいので御協力を御願ひします。SWLの方の記事もどこどこ御願ひ致します。
- ◎ エコスカのコンテストの成績は次号に発表の予定です。
- ◎ WATに對抗してWAY (ワイ) 等いかがですか?
- ◎ CQ 6月号 JAICA DMの解説にさんせいするえをけんせつ的な意見と見ないのは一寸白々的感か(じや厚か)か。
- ◎ ではこのへんで VY 73 and 88。

VOY Vol.1 No.1
非売品
編集 JA1OG
発行 JARLYOKOSOKA CLUB
〒4所 横浜野市深田274 坂本方。

=== 祝：クラブ創立40周年 ===

JARL横須賀クラブ会報 No. 181

Voice of Yokosuka

発行：JA1YBQ JARL横須賀クラブ

発行責任者：JH1OHZ 片倉 由一

編集責任者：JJ1GLY 金木 和彦

平成5年12月5日（日）発行

12月5日に行われたJARL横須賀クラブ40周年記念式典の記事が12月6日付神奈川新聞に掲載されました。

1993年(平成5年)12月6日 月曜日

横須賀湘南 (16)

神 奈 川 県 民 新 聞

よこすか しょうなん

地域に根付き40周年

アマチュア無線
横須賀クラブ

横須賀市を中心とした三浦半島一帯で活動するJARL(日本アマチュア無線連盟)横須賀クラブ(片倉連盟)横須賀クラブ(片倉連盟)の創立40周年記念式典が5日、同市本町の「よこすか平安閣」で開かれた。

一九五三年十二月に産声を上げた同横須賀クラブは、技術交換交流会や通信訓練など無線を通じて数々の活動、交流を続けてきた。そのほか、青少年への技術指導、市防災課のバックアップといった画期的な活

動も行い、常に地域に根付いた活動を心掛けてきた。この日の式典には会員やOBら約百人が出席。片倉会長が「四十周年を迎えられたのも諸先輩方のご努力のおかげ。今後より一層の技術の向上を目指してい

きたい」とあいさつした。JARL会長の原昌三さん、同県支部長の川島健太郎さんも駆け付け、祝いの言葉を述べた。また「お楽しみ抽選会」や「記念写真撮影」なども行われ、集まった人たちは四十周年の思い出話やこれからの活動の抱負などについて語り合った。



式典であいさつする片倉会長＝よこすか平安閣

バケーション 気分の サイパン旅行記

JARL 横須賀クラブ
片倉 由一



〇島内観光でリラックス。すっかりバケーション気分の面々

JARL横須賀クラブでは、クラブ創立40周年の記念行事として本年1月28日～31日までの4日間、サイパン(KH6)において当クラブ初めてのDXペディションを行いました。

島内観光やショッピング、ホテルのプールでのんびりするなど、まったくのバケーション気分でしたが7MHz～29MHzを運用し、2070局34カントリーとQSOすることができました。

出入国のあれこれ

当クラブの17名が参加したため、団体扱いとなってしまいました。そのため、出発荷物を預けるカウンターには「JARL横須賀クラブ サイパン J1947」という電光表示があり、チョットいい気分でした。リグだけは手荷物として機内に持ち込もうとしたところ、当然のことながらX線検査機のチェックに引っかかりました。「カバンを開けてください。これはなんですか?」の質問に「ラジオです」で、いとも簡単にパスすることができました。無線＝

ラジオですから、ウソではありません。しかし、サイパンの入国時には一悶着しました。ビームアンテナを入れた箱を「開けろ」と言われ、箱の中を覗くとアンテナと一緒に入っていた振り出しの釣竿を見て「これは何か?」と聞くので、「フィッシングボール」と正直に答えましたが「本当に釣竿が伸ばしてみろ」と言うので、周りに笑われましたがスルスルと釣竿を伸ばしてOKとなりました。もちろん使用目的は釣りではなく、ワイヤーアンテナを張る時に使うために持参したのです。しかし、サイパンでスキーができるわけではないのですが、スキーケースに入れて持ち込んだ50MHzの4エレメントHB9CVはOKでした。

アンテナ

ホテルに到着後、すぐにアンテナ設置となりましたが、最初の仕事は「覚書き」へのサインでした。今回は事前の連絡を行い、屋上へ設置する了解をもらっていましたが、なにせ8階建て

のホテルの屋上ですからホテル側もなにか事故があった場合の責任上、覚書きへサインすることになりました。

ダイポールやビームアンテナは、多くの方々とのQSOのため日本に向けて固定しました。8階の屋上ということもあり、風が強かったので特にしっかりと固定しました。

運用

ホテルの8階の一室をオペレーションルームにして常時運用可能な環境を整えました。リグはTS-690Sを1台、TS-50Sを2台設置しました。

アンテナは7/14/21MHzはダイポール、18/24MHzは2エレメント、28MHz(29MHz FMを含む)はパーティカルアンテナを使用し、第一声を29MHzのFMでオンエアしたところ、神奈川県横須賀市在住のDXer、JA1KNY篠田芳彦さんが応答してきました。

予想通りの良くも悪くもない電波の飛び具合です。これは、屋上からアンテナの給電点までの高さも無く、利得のあるアンテナではないものの海のすぐ脇に建てられている8階建てのホテルの屋上という、立地条件に助けられたのではないかと考えました。しかし、50MHzはコンディションの都合により、まったくQSOすることができませんでした。

今回の運用は、1月31日の午前9時(現地時間)まで、各人の日本でのコールサインに「KH6/」を前置したコールサインを用いて運用し、総数2070局34カントリーの成果をあげることができました。今回はバケーションが中心で、運用者の平均年齢が約40歳ということもあり、のんびりムードだった



に団体扱いになってしまったので、カウンターの電光掲示板にはクラブの名前が表示されて、チョットいい気分でした。



にホテルの一室をオペレーションルームとして設け、精一杯運用しました。

クラブ創立から40年間の諸先輩などの努力があったからこそと思います。

ともあれクラブで初のDXペディションでしたが、多くの方とQSOすることができて大変楽しく過ごすことができました。

なお、QSLカードはそれぞれの運用者宛にお送りください。今回の参加者は次のとおりです。

JA111, JA1DCK, JA1N
VF, JH1CDJ, JH1IUZ,
JH1OHZ, JE1LGY, JE1
NAL, JF1FWJ, JJ1EXB,
JN1EWZ, JP1BDM, JQ1
AHX, JH6TUH, SATO, O
GATA, TAMURA

(de JH1OHZ)

ことからすれば良い結果だったと思います。

マニャガハ島から

オンエア

期間中、サイパン本島マイクロビーチの沖合に浮かぶ、周囲1.5kmほどの珊瑚礁の小島“マニャガハ島”で小グループでの運用も試みました。

機材は144MHz 茶オールモードトランシーバにダウンバータ、21/28MHzのダブルダブレット、電源にはソーラーバッテリーを使用しました。最初に29MHzでフルパワー（出力50W弱）で運用したことで、この日に限って運用最中にスコールに会い、途ってしまったのでソーラーバッテリーが機能なくなりました。結局、電源がダウンしてしまい、予定時間を切り上げて引き上げました。マニャガハ島からの運用は初めて(?) かもしれません。

最後に

今回運用の最後の局と交信を終了す

ると同時に、部屋にいたメンバー全員で拍手喝采となり、参加者は大いに感動しました。今回の企画は40周年ということもあって単に参加者だけでなく、

ホテルの屋上にアンテナを設置し終えたところで「ハイポーズ」



APOLLO HAM CLUBの有志は、香港ツアーを催し、美味しい中華料理に満足すると共に、ハムショップやパソコンショップ巡りを楽しみました。(de JM1JFF)



安定化電源製作会

1月23日に13.8Vの安定化電源の製作会を行いました。製作は初めてという中学生や女性の方も参加されましたが、全員が完成して愛用しています。(de JH6AW1)